

<新春特別放談>

月星会は、みんなの活力源！

—— 触れ合いの中に前向きなヒントが… ——

INDEX

新春特別放談	1～3
臼井先生旭日大授章受勲	4
委員会報告	4～6
会員異動 / スケジュール	6



【出席者】

臼井日出男先生、阿佐幸雄会長、
岩田代三直前会長 【司会・文責】 奥平 恵

臼井日出男先生が国政から引退されて半年近くになります。この間、国政では政権交代が行われ、民主党を中心とする連立内閣が誕生しました。前号で、臼井先生はこの政権を「問答無用内閣」と断じ、鋭い筆致で警鐘を鳴らしています。

そうした臼井先生の思いを踏まえながら、月星会は今年も元気に、そして前向きに活動を続けていきます。2010年新春号の特集は、臼井先生と阿佐会長、岩田前会長の新春座談会です。月星会の存在価値や会員にとってのメリットなどについて、気楽な本音トークで語り合いました。

楽しい会だから優先的に

司会 明けましておめでとうございます。臼井先生は国政を引退されましたが、生活はかなり変わりましたか。

臼井 議員会館に通う生活はなくなったので、朝早く家を出るといった生活パターンからは少し変わりましたが、朝はやや遅くなりましたが、でも7時か7時半ぐらいには起きています。平日はまだまだ忙しいです。スケジュールは今でも結構入っているのですよ。

阿佐 議員は勇退されても政治家をお辞めになったわけではないですから、まだお忙しいでしょう。

臼井 そうですね。29年間議員生活をしてきた関係でいろいろ



な団体の長になっています。役目はまだまだ果たさなければなりません。特に千葉県のスポーツ関連が多いのですが、今年は千葉国体がありますから、国体が終わるまでは引退という感じにはならないでしょう。武道館の理事長職も務めていますし…。おかげさまで身体のほうはいたって健康なので、忙しくてもまだまだ大丈夫です。

司会 それは何よりです。月星会の人たちも安心することでしょう。では、本題に入りましょう。臼井先生は、議員時代から多忙な中でも月星会の行事を優先していただいていた。その理由はどんなところに？

臼井 優先するといいますか、自然にそうになっているといったほうがよいでしょう。月星会には、発足前からも含めて仲間が多くいますし、何よりも楽しいから行事に参加しているのです。愚痴も言えるし、冗談も言えるし、フランクに自分をさらけ出す仲間がいるというのは、私にとっては活力源なのです。

岩田 私の知る限り、先生は朝食例会を欠席されたのは1回だけだと思うのですが、私は、会長をしている時ですら2度も欠席しています。夜開催の行事にも必ず出ていただいていますし、頭が下がります。関わっていらっしゃる団体がたくさんある中で優先的にご参加いただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

阿佐 先生が参加されるのをみんな当たり前とってしまうぐらいに(笑) 必ずご出席いただいているのですが、本当はそれじゃいけないんですよ。臼井先生が月星会を優先順位の高いところに置いていただいていることは間違いのないわけですから、岩田さんの言うとおりに感謝しなければならないことです。

司会 ご参加いただければ、必ず国政についてお話しされたり、いろいろなことを教えていただけるという面がありますね。

阿佐 それに対して私たちはお返ししなければならないというので、選挙の機会などは自主的に応援させていただいた

りましたが、相対的に見るとまだ私たちのほうの借りが大きいと思います。

“先生のおかげ”がたくさん

白井 逆に私のほうに今、悩みがあるのです。これまでは月星会の皆さんのお話を伺い、国政に反映させていくことが出来ましたし、それが月星会における私の役割だと思っていました。しかし、代議士を引退してそういう機会がなくなってしまうとどうしようかと思っているところです。もちろん、県政や市政にも仲間がいるのでそちらに橋渡しをするという役割はできますが……。

阿佐 先生が29年間の政治活動の中で築いてこられた“看板”というのは大きなものがあります。国政ばかりではなく地方においても白井先生の名声にはすごいものがあります。ですから、私たちの意見や考えに対してそうしたところからバックアップしていただければありがたいと思います。先ほども言いましたが、国会議員はお辞めになっても政治家としての志やお仕事これで終了ということでもないと思いますから。



岩田 何年前だったか、朝食例会で先生から、地方でこんなことをしていますという冊子をいただいたことがあります。その時「あっ、やってくれているわ!」とすごく嬉しくなったことを覚えています。先生は、あまりご自身の功績についてお話にならないだけに、意外に思っただけ感動してしまいました。

司会 それは、具体的にはどういう事例なのですか?

岩田 千葉の高速道路の整備やモノレールの問題でした。我々の意見を反映していただいている事実を垣間見たのです。“地方のためになる”というキャッチフレーズが一時あったと記憶していますが、その少し前の出来事でした。

白井 私の関係する団体の中で、自主活動としてお互いに切磋琢磨しながらそれぞれの企業や自分自身の成長・発展につなげているというのは月星会だけなのです。それは本当に素晴らしいことだと思います。そういう意味でも、私でお役に立つことならこれからも積極的にしていきたいと思っています。

阿佐 いままで講演会などに錚々たる方々をお招きできたのも白井先生がいらっしゃるからこそです。そういうチャンネルとか人脈はこれからも先生に期待したいところです。

岩田 先生のおかげで他団体との交流を図れたことも多々あります。私が経済交流委員長という役を担っていたときに、阿佐さんから「銀座の商店街と組んでやるといいんじゃない」というヒントをもらったことがあって、藤原さんと挨拶に行き、商店街のトップの方とお知り合いになりました。商工会議所との交流などもありましたが、そうした交流が多く

なったのは、まさしく先生のおかげにほかなりません。非常にありがたいことだと思っています。

月星会からヒントを得て…

司会 月星会は白井先生を囲む会ではありますが、会員同士の横のつながりも濃いような気がします。そうしたつながりから得るものはありますか。

岩田 あります。先生が活力源になっていると同じように、われわれも活力源なのです。月星会は異業種の集まりですから、知り合え



だけでもメリットが少なくありません。たとえ酒席であっても経営の話など様々な話題について違った観点からの意見が聞けます。そうしたところに、自分に生かせるヒントがあるのです。私はヒントをいただくとすぐ行動に移すほうなのですが、会社の経営に役だったことが結構あります。実は、今年は売上げがまあまあ上がったのですが、これも月星会でヒントをもらったことが生きた結果なのです。

司会 それは素晴らしいことですね。

岩田 あっ、売上げが上がったというのはオフレコでお願いします。

阿佐 いやいや、それはいい話だからぜひ載せましょうよ(爆笑)。

白井 本当にいい話だね。

司会 ええ、これは司会の独断で載せます(笑)。月星会は、先生から何かコーディネートしてもらおうとか、商売につなげようとかそういう目的意識をもった集まりじゃないように思えます。今、岩田さんがおっしゃったように、異業種の経営者が集まっているから何気なくお酒を飲んでいても結果として得るものがある。気がついたらヒントをもらっていた。そんな会じゃないかと思えますし、そこに存在意義があるのではないのでしょうか。

阿佐 そうですね。また、そうあってほしいと思います。先生に県や市にプレッシャーかけてほしいなあとか、そういうスケベ根性を持ってないわけじゃないんですが(笑)、それを目的に参加しているかというところじゃないと思います。

岩田 みんなそういうスケベ根性はないですね。

阿佐 そう、基本的には持っていないんですよ。

司会 だから皆さん、白井先生も含めて気楽に参加し、気楽に話せるということがあるかもしれませんね。



制約がない会だから

白井 私はいろいろな会合に出っていますが、ネクタイを取って出られ会合は月星会だけなのです。

司会 あっ、すみません。今日は新春なのでネクタイをお願いしました(笑)。

白井 まあ、普段はネクタイを締めずに気張らず、普段着のまま一歩突っ込んで話ができるというのがこの会の特徴だと思っています。だから楽しいし、時には厳しい意見も本音で言っただけ。これがいいですね。

司会 そういえば、前号の会報で先生は民主党政権に対して歯に衣着せぬ苦言を堂々とお書きになっていましたね。

白井 確かに(笑)。遠慮なく言いたいことを私も言わせていただくわけで、本当にいい会だと思います。

阿佐 月星会の最初は、千葉県中小企業家同友会の有志が集まって結成しましたが、同友会というのが政党色を出さないことが原則でした。ですから月星会も政党色なしに何でも言える会なのですね。あえていえば、“白井党”だと思いますよ。

司会 そういえば、白井先生が国会議員を勇退され、自民党が野党に落ちてしまったという理由で退会した人はいるのですか？

阿佐 いえ、それが理由で退会された人は一人もいません。

岩田 いないでしょうね。要するに、白井先生が国会議員だからとか自民党だからという理由で月星会に入った人はいないのではないのでしょうか。みんな白井日出男という政治家個人が好きで入会し、行事に参加しているのだと思います。私もそうです。

親子で入会している特殊性

白井 この会が面白いというか、特徴的なのは女性会員が多いことと親子で入会している人が多いことですね。だいたいオヤジが入っている会に倅と一緒に入るという会はほかにはありませんよ。それは全く特異な現象です。

阿佐 言われてみれば、確かにそうですね。結構いますね。

白井 倅のほうがエライんだと思うけどね。

司会 今、写真を撮っている内藤さんもその一人じゃないですか。

白井 あっ、そうだね(笑)。

内藤 ちょっと飛び入りしますが、最初、私はそれが普通だと思っていたのですが、ほかの会にいろいろ顔を出し始めたら、月星会は特殊だと感じました。私以外にも、たくさんいますよ。



白井 特殊ですよ。他にはありません。

司会 それもあまり制約条件がなかったり、政党色がなかったりすることから来ている良い面でしょうね。

白井 でも、夫婦で入会というのはないね。

内藤 昔、奥様をお呼びした食事会があって、皆さんが夫婦で参加されたことがありましたよ。

阿佐 ああ、あったね。白井先生ご夫妻を囲んで。

岩田 あった、あった。ああいうのをまたやってもいいかもしれないね。

心を割って話をする会に

司会 ところで親子といえ、正一さんに次の選挙を頑張ってもらわなければいけませんけど……。

阿佐 とにかく国政を目指して一直線に頑張ってもらいたいと思います。まだ白井先生にあつて正一さんにないものがたくさんあると思いますが、月星会を肥やしにして国政に巣立ってもらいたいところです。

岩田 どういう政治家を目指すのか、正一さん自身が描く政治家像を早く伝えてほしいと思っています。

白井 いまこそ皆さんからいろいろな意見をお聞きし、吸収して自分のものにしてもらいたいと思っています。かつて、私が落選した時、肩書きがなくなったゆえに率直な意見を言ってくれるという面があることに気づいたのです。だから正一にも、いまが皆さんから意見を拝聴する大事な時期だし、それを今後に生かしてもらいたいと思います。

司会 月星会は本音で話せる会ですから、きっと役立つ意見が聞けるものと確信します。最後に、一言ずつ月星会の今後についてお話し下さい。

岩田 20年に亘ってずっと楽しく参加してきましたが、今後も楽しく活動していきたいと思っています。

白井 月星会の良さは、100人を超えるメンバーがほとんどお互いに顔と名前が一致するぐらい近い関係にあることでしょう。今後もぜひ、会の融和をいっそう取っていただいて、時に応じて集まった力を爆発させるような活動をしてもらいたいと思います。

阿佐 楽しくなければいけないという面もあると思いますが、一方で月星会の目的にあるようにそれぞれの経営者が月星会を通して自分の資質を高め、自分の会社の体質を向上させる。そして地域に貢献していく。このことが大事だと思います。そのために会員みんなが心を割って話をし、お互いがそれをヒントにしていく。そういう活動をこれからも続けていきたいと思っています。

司会 ありがとうございます。



叙勲おめでとうございます

相談役 山本康昭

臼井日出男氏のこの度の旭日大綬章の叙勲、心よりお祝い申し上げますと共に、昨年白寿を迎えられたお母様を始め、苦楽を共にされた奥様、議会活動を支えられたご家族やご親族の方々、そして事務所の職員の方々のお慶びはいかばかりかと推察し、月星会の多くの仲間と共におめでとうの言葉を捧げたいと思います。

最初に新聞報道で叙勲の知らせを目にした時、いつの日かはと想像はしておりましたが、現実には功績を称える記事と写真を拝見し、一支援者としてご厚情を賜り、交流を重ねてきた日々が目の前を去来し、思わず微笑んでしまったのは私ばかりでなく、月星の仲間全員の感想ではなかったかと確信いたします。

旭日大綬章といえば、平成15年の栄典制度改革以前の勲一等旭日大綬章であり、内閣総理大臣や衆参両院議長、最高裁判事の職にあり、顕著な功績を挙げた方々に授与される最高位の勲章に属し、永年の議員生活と、法務大臣や防衛庁長官を勤められた臼井氏に相応しいの一語に尽きましよう。

朝食例会の折に実際に勲章を手にとって重さと大きさ

を体験させて頂きましたが、日本の最高の七宝技術を駆使して製作された華麗さにも感動いたしました。

どうかお身体をご自愛の上、今後も月星会の要としてご指導ご鞭撻下さり、今まで以上に活躍下さることを念じて止みません。



〇〇〇にて

委員会報告

例会企画委員会

平成21年12月5日(土) ホテルグリーンタワー千葉

平成21年望年例会

月星会の忘年会は望む年と書いて「望年会」。会員なら誰もが知っている。テレビのニュースはだらしない政治と不況と暗いニュースばかり。月星会の会員だけはキラ星の如く輝いていたいものだ。

平成21年の望年会も例会企画委員会が企画運営し、副委員長の徳永康子さん、武田峰子さんの輝ける女性二名が司会をつとめた。

阿佐会長の挨拶の後、岩田代三直前会長より乾杯の挨拶を頂き望年会が始まった。乾杯酒はもちろんグリーンタワーさんよりご提供の美味しいシャンパン。デフレの折、いつも無理難題に添えてくださるうえに、乾杯酒のご提供を頂ける。ありがたい。

毎年のごとだがスケジュールの都合で臼井先生は、途中からの参加となった。他の宴席を早々に済ませ、月星会の宴だけはゆっくりと最後まで寛いで頂ける。先生の月星会の仲間に対する思い、これもまたありがたい。

先生が登場されると、文化の日に授章された旭日大綬章のお祝いとして、宍倉龍子幹事長より豪華な花束が贈呈さ



れた。また勲章実物をご持参頂いて場内に飾らせて頂き、望年会に華を添えて頂いた。

アトラクションは全員参加型の歌声喫茶をイメージして、歌手の笠よし子さんをお招きした。笠さんは千葉市内を中心に歌声サロンの企画や、コンサート、ボランティアなどを精力的に行っている方だ。

アトラクションの司会は勿論月星会の宴会部長・小川智之青年経営者共育委員長。小川委員長がマイクを握っただけで何か楽しい予感が！軽快にクリスマスソングを歌いながら入場された笠さん。サンタクロースをイメージした赤と白の衣装でご登場。露出が多くなかなか目のやり場に困るのであった...

「美しい十代」や「高校三年生」、「ふるさと」といった

名曲が続き、しまいには臼井先生や役員方もステージに上がり大合唱となった。最後に笠さんへお礼の花束が贈呈された。プレゼンターは若手を代表して千葉産業（株）の千葉康隆さん。まったく突然の指名ながらも大役を果たして頂いた。

次に恒例のビンゴを行った。一年最後のお礼に参加者は全員手ぶらで帰る事がないよう、盛り沢山の景品を準備させて頂いた。景品総額が、ビンゴカード売上総額の倍以上になったのだが、そんな事はおかまいなし。年の暮にせっかく足を運んでくれた皆さんにお返しをさせて頂いた ... つもり。

一等の大きな胡蝶蘭は（株）大澤製麺の麻生喜義さんが見事引き当てた。年末の年越し蕎麦の生産に弾みがついただろうか？その後も二等、三等 ... と続々ビンゴを引き当てた会員各位。満足して頂けましたか？

締めは勿論全員輪になって手をつなぎ、「日の出の男」を大合唱。毎年のことだが、最後に手をつないで歌うこの歌は月星会に所属して良かったと思わせてくれるいい歌だ。

中締めは山本康昭相談役のご登場。通年朝食例会にて「美術鑑賞の壺」コーナーを企画・ご協力頂き、是非一年の締めにとお願いさせて頂いた。文字通り締めりのある言葉で締めて頂き、平成21年の望年会は幕を閉じた。

これまでも会行事のマンネリ化や回数が多い・参加費負担が大きいなどと色々なご意見を頂いている。厳しい経済情勢や、それぞれの会社の情勢の中、54名ものご参加を頂いた。本当にありがとうございました。

(木下英之例会企画委員長)



例会企画委員会

平成21年11月14日（土） 於：グリーンタワー幕張

11月度の朝食例会、司会は産方例会企画委員会副委員長。

阿佐会長の挨拶の後、臼井先生より文化の日に受賞された旭日大綬章の御礼が述べられ、頂いた勲章を参加者全員に回して見せてくださった。「手垢で汚れても、拭けばいい」と先生、さすが日の出の男!!!

臼井先生からは民主党内閣・3つの不安と2つの疑問について、資料に基づきお話し頂いた。質疑応答では、事業仕分けを始め今の政権運営について山本相談役から「ニュースを見るたびイライラする」との発言があり、出席者から大きな賛同を得た。

例月通り委員会報告の後、臼井正一氏の今月の活動報告

では天皇制について勉強しているというお話をユーモアを交えてご披露頂いた。

小川市議の市議会報告では、国同様に市でも事業仕分けがあり、実際に仕分けを行った時のお話しを頂いた。

例会終了後、親睦企画委員会の日帰り旅行があることもあり、山本相談役の「美術鑑賞の壺」コーナーでは、これから行く三溪園の古建築について資料を作成・ご紹介頂いた。参加される方には良い予備知識となったことでしょう。

お楽しみの誕生日の花束プレゼントコーナーでは、志村美知子さん、山崎栄一さんに花束が贈られた。

くじ引きによる一言スピーチ。今回は『仕事』をテーマに与えられ、萩野玉男さん、竹口満代さんがそれぞれ全く違う角度から現在の『仕事』についてのお話を頂いた。これからも、『仕事』について皆さんから色々なお話を頂こうと思います。

最後に宍倉幹事長に締めのご挨拶を頂き、11月度の朝食例会は終了した。

今月のフクロウ募金 6,198円。参加人数26名

(木下英之例会企画委員長)

学修委員会

平成21年11月16日（月） 於：生涯学習センター3F

通常学修会を開催しました

去る11月16日、通常学修会を予定通り開催致しました。今回のテーマは、「自社を強くてよい会社にしようとする時、リーダーである社長の経営力（先見力・洞察力・決断力・統率力・指導力・行動力・創造力・人間性）が如何に重要であるかを認識する事、それを高める為に如何なる学びをすれば良いか」という事でした。その例題として大手企業が実践した事を取り上げました。

参加者からは「大手の話と中小零細の話ではスケールが違いすぎて参考にならない」との意見もありました。しかし企画した側の観点は、「経営者には大志も必要であり、遠く高く険しい山を見上げ、岩だらけの山道を一步步踏みしめ、喘ぎながらも高みに向かって進んで行く」そんな意欲も必要ではないかとの思いでした。

リーダーは「蟻の目」と「鳥の目」を合わせ持たなければならぬ、と私は教わって来ました。中小企業の経営者はともすれば目先の事ばかりを重要視してしまいます。確かにそれも重要です。しかし、それだけでは「自分が何処にいるのか、そして自分の行く手に断崖はないのか」、それらが判らなくなってしまいます。社会を鳥瞰的に見る習慣も非常に重要だと考えます。

次の通常学修会の予定は来年の2月15日です。こんなペースで学修しても勢いがつくはずありませんし、毎回振り出しに戻ってしまっている感が拭えませんでした。

皆さんは個々に高みに向かって多様な勉強をして下さい。

良い経営者だけしか生き残れない世の中になりつつあります。
(金田敏彦学修委員長)

親睦企画委員会

平成21年11月14日(土) 於：鎌倉・三崎・横浜

雨の日帰り散策旅行

11月14日(土曜日)雨のち曇り晴れ。また雨でした。親睦旅行、親睦ゴルフコンペ、三度目の企画 散策旅行も、また雨…。

NTT 前出発 朝食例会参加の方々と合流し、グリーンタワーホテルをご一行様17名で出発。

最初の見学地「鎌倉宮」にて古い歴史を参拝したとたん、大粒の雨。一時間のバス移動で三崎へ着くと「あれっ晴れてる?!!」。

まぐるとお酒をたっぷり頂戴し、一路三溪園に。初めての三溪園は「もう一度訪れたい所」のページに入りました。

ご参加を頂きました皆様ありがとうございました。

賜り物を頂戴いたしました方々厚く御礼申し上げます。

(親睦企画委員長 竹口満代)



横浜「三溪園」の散策

相談役 山本康昭

月星の気心の知れた仲間との散策の旅は実に愉快的なものです。特に三溪園のしっとりとした雰囲気には心が癒され、普段の疲れを忘れさせてもらいました。

三溪園は生糸貿易で財を成した明治の大実業家「原三溪」の元邸宅が基礎となっており、ここに京都や鎌倉から歴史的に

価値の高い建築物を移築し、明治39年に「三溪園」として公開したものです。

約53,000坪の園内には、10棟の重要文化財を含む17棟の古建築物が配置され、手入れも行き届き、経年の自然への溶け込みで、あたかも最初からそこに建てられて現在に至っているような落ち着きを見せています。

今の時代には考えられない文化財に対する環境と、「建物オタク」の原との名コラボの結果と言えます。

紀州徳川家の数奇屋書院造の別荘「臨春閣」や、旧灯明寺の「三重塔」、白川郷の庄屋の家を移築した「合掌造り」が圧巻でしたが、なにせバスの車中でのお酒の酔いを醒ますための散策のようでもあり、和やかなひと時でした。



1・2・3月の主なスケジュール

1/23(土)	平成22年 新春の集い・賀詞交歓会 18:00開会 ホテルグリーンタワー千葉
2/ 8(月)	役員会 18:30開会 プラザ菜の花
2/13(土)	朝食例会 07:00開会 ホテルグリーンタワー幕張
2/15(月)	通常学修会 19:00開会 生涯学習センター
2/20(土)	ボウリング大会 18:00集合 18:30スタート アサヒボウル
3/ 8(月)	役員会 18:30開会 プラザ菜の花
3/13(土)	朝食例会 07:00開会 ホテルグリーンタワー幕張

会員異動 *退会

尾形祇文氏 (株)みつわ 代表取締役会長

山本茂樹氏 トキワ自動車販売(株) 代表取締役

*現在入会者はありません。1月6日現在の会員122名

編集後記

皆さん、明けましておめでとうございます。本年も「会報つきぼし」が皆様に喜んでお読みいただけますよう努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

増ページした新年号、いかがでしたか。今回は「特別新春放談」と題して、阿佐会長、岩田前会長、そして臼井先生の3人にお集まりいただきました。御三方の座談会ですが、「放談」としたのは本音でお話しただろうと思ったからです。でも、良いお話がたくさん聞けました。傍で聞いていて、月星会というのは本当に素晴らしい会だなあと、つくづく思った次第です。記事の中にもあるように、制約がなく言いたいことが言えるという特徴を生かしながら、未永く続けていきたいですね。

私たち月星会の一人ひとりにとって、2010年がハッピーな年になるようお互い頑張っていきましょう。(栗原)